

とやま動物愛護センター（仮称）整備管理運営事業説明会の結果

1 方法

- ・ 事業説明会の開催
- ・ アンケート調査の実施

2 参加事業者

担当領域	事業者数
設計	3社
施工	2社
管理運営	2社
デベロッパー	1社

3 主なご意見・ご提案等

① 施設計画

- ・ 初めての来館者が入りやすい雰囲気が必要と考える。
- ・ 業務の官民リスク分担と併せて、ハード面の仕様や要求水準を今後実施方針時にお示しいただきたい。
- ・ 動物に負担のない施設、地域の方が足を運びたくなる施設計画が望ましい。

② 管理運営計画

- ・ 県職員との連携の必要性が高いため、役割及びリスク分担は、より詳細なフェーズまで明確にしてもらいたい。
- ・ 民間事業者の役割を増やしてもよいのではと思った。
- ・ 直営部分と民間部分の責任区分及び料金徴収の別をお示しいただきたい。

③ 多くの来館者を呼び込む取組み

- ・ 動物関連イベントだけでなく、集客イベント等の仕掛けが必要と考える。
- ・ 犬が好きな方や動物愛護団体等のグループやコミュニティをつなげていくことが必要。
- ・ 富山駅周辺でのロビー活動等が想定される。
- ・ 広場や研修室を活用したイベント事業の実施
- ・ ドッグカフェやキッチンカーの出店

④ 事業手法

- ・ PFI（BTO）及びDBO方式であれば、設計段階から運営思想を反映しやすい。
- ・ 運営の意見が効果的に反映できるスキームが望ましい。
- ・ PFI（BTO）方式の場合、民間の創意工夫が発揮しやすい。
- ・ 事業規模や物価変動も考慮するとDBO方式が望ましい。